

【第11回 佐賀県豚熱対策本部会議】9月2日（土）18:00

農林水産部長／1例目は、本日14時50分に、汚染物品処理、農場内の消毒が完了し、防疫措置が完了した。

2例目は、9時時点で3,524頭、現在3,898頭を殺処分。350頭の進捗。

埋却溝の掘削は1本目が完了。2本目も65m完了し、フルコンバック30袋を埋却溝に投入した。

防疫作業の動員数は、県が3班、自衛隊4班が継続して作業にあっている。延べ人数は、2,400名。

農林水産部長／まん延防止を図るため、県内養豚農家に対して、異常死亡豚が出た場合の早期通報を徹底するよう電話連絡をしている。死亡数の増加や、異常が発生した場合は、早期に通報をお願いしたい。

落合副知事／午後に、現地対策本部を、竹木場公民館から唐津総合庁舎に移動した。対策本部は大会議室だが、通信環境が悪いため、別室から中継している。

殺処分は順調に進んでいるが、非常に現場が暑い。体調不良者が4名発生したため、休憩を長めに取りながら作業を続けている。

作業効率を上げるために、フォークリフトとクリフトオペレーターを追加投入した。畜産試験場と農業試験センターから、それぞれ1台1名ずつ、合計2台2名。

埋却処分用の埋却溝は、2本完了し1本目が埋却処分中。2か所目の場所を決定し、65mと30mの2本を掘削する予定。不足に備え、3か所目の埋却溝の場所を検討中。豚舎から埋却場所まで距離があり、その道が狭い。処理能力を上げるため、離合ポイントの増設を検討している。

防疫強化として、養豚場から外へ出る際の消毒作業を徹底するように指示している。

自衛隊／陸上自衛隊西部方面混成団は、200名での活動を実施中。引き続き継続する。

健康福祉部／畜産農家から心のケアについての相談はない。

15時過ぎから体調不良者が4名出ている。体調が万全でない中、動員されるケースもみられる。動員がかかる前に、職場で声かけの配慮があれば、現地での体調不良者が抑えられるだろう。

防災監／サポートセンターは順調に回っているだろうか。

落合副知事／資材の調達も含め順調。

防災監／作業の状況において、気温の急上昇などあったのか。
落合副知事／休憩の時点で、気温が35度を超えた。体調を崩す人もいたため、休息を長めに取り作業している。

防災監／県職員や建設業協会も含め、作業に不慣れな人間が動員されている。無理を強いている可能性もある。送り出すほうは、くれぐれも注意してほしい。

県土整備部長／消毒ポイントは、本日5か所で56台。

道路上にマットを敷いて消毒している一般車両箇所、スピードを落とさない車両もいる。特に、下り坂に設置した箇所では、注意してほしい。

防災監／消毒ポイントにも建設業協会や県職員が配置されている。ここも過酷な現場のため、ケアもお願いしたい。

防災監／1例目が、本日14時50分に防疫措置が完了し安堵した。2例目は、40%ほどの進捗状況。大型の豚が相手で、気温が高い中に防護服を着用しての作業は非常に過酷。安全第一で進めていきたい。

不慣れな職員も多いため、1人1人の健康状態の確実なフォローをお願いしたい。防疫措置を確実に進め、拡大を阻止するため、引き続き対応をお願いする。

改めて、多くの皆様の協力を得て、進めている状況に、心より感謝申し上げたい。引き続きよろしく願います。